

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)

2023-2024年度 国際ロータリーテーマ

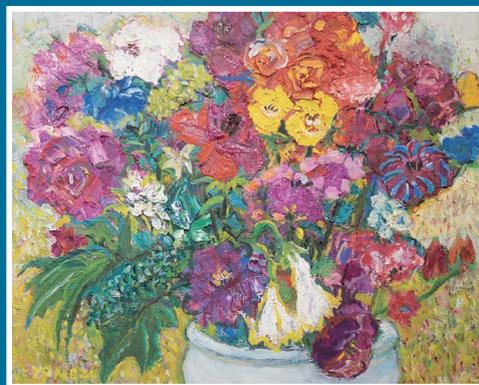
世界に希望を生み出そう

R.I.会長 ゴードンR・マツキナリー

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 折井 正明

2023-24年度 上田ロータリークラブ

- 会長 林 秀樹 ● 副会長 三井 英和・酒井 喜雄
- 幹事 飯島 幸宏 ● 会報委員長 斉藤 達也



Rotary



世界に希望を生み出そう

第2918回例会 (令和5年8月21日)



ホームページQR

[2022-2023年度決算報告]

前会計 窪田秀徳さん



のないものでした。

戦争は悲惨なもので誰もが戦争のない世界を望んでいます。しかし、現実の世界は、今でもあちこちで戦争が起こっています。では、どうしたら戦争を避けられるか、そのような内容が全くありません。戦争は必ず相手があります。その相手と戦争を避けるにはどうしたらよいか、話し合いとというだけで全く内容がありません。

[2022-2023年度会計監査報告]

前会計監査 小山宏幸さん



日本は、現実的に戦争のできない国です。それは憲法9条が理由ではなく、戦争のできる軍備を持っていません。あくまで防衛能力だけです。相手にとってこんな攻めやすい国は在りません。だから、日本のリーダーの方々は、一生懸命知恵を絞っています。私たちは、ただ反対するだけでなく、国民の一人として、真剣に考え協力すべきことは協力していかなければいけないと思います。

[会長挨拶]

林 秀樹 会長

お盆休みも終わり、暑い夏の日常がまた、戻ってきました。

お盆の時期に本州を直撃した台風7号は東海から関西中国地方を中心に被害を及ぼしました。

特に大阪を中心として交通機関が麻痺し大変な思いをされた方がたくさんいらっしゃいました。つらいお休みだったと思います。

つらい体験といえば、78回目の終戦記念日を迎えました。先の大戦で世界中が多大な被害をもたらしたことを私たちは改めて考え、二度とこのような事を起こさないようにしなければいけないとつくづく思いました。

8月15日付の某新聞の一面である記事が目にとまりました。「戦争の正体を見極めねば」という題でその新聞社の論説主幹の人が書いた記事でした。日本の防衛費増額反対、自衛隊増強反対、憲法9条の改憲反対の意見の人たち特有の戦争の悲惨さを訴えていた内容で相変わらず中身

終戦記念日にこのような内容のない情けない記事を目にしてしまい、考えさせられてしまいました。

[会員卓話] 会員増強・I.D.M委員会 伊藤典夫 委員長

今年度第1回目の会員卓話において、会員増強・拡大月間ということもあり、会員増強・I.D.M委員会として、委員会の活動方針を具体的にお話させて



いただく機会を頂戴いたしまして、ありがとうございます。

まず、会員拡大についてお話をさせていただきたいと思っています。

本年度のスタートは52名の所属会員ということで始まりました。昨年度の末に大量5名の退会者が発生してしまい、私の認識ではここ数年来ずっと60名の会員数を目指していたことを思いますと、危機的な状況と感じております。

地区での平均的な拡大数は純増2名を目標とするクラブが多い中では、我がクラブは54名が目標と言えるかも

しません。

年度当初に早速藤森さんに入会していただきましたので、今年度の退会者が“0”という前提では、あと1名の入会者が確保できれば54名となりますので、取敢えずの地区平均目標は達成されたということになります。

ただ、林会長のお考えをお聞きすれば、ロータリークラブ運営上の組織構成ということを将来的なことも含めて考えてみると、最低でも55名の会員は確保したいとのことでした。

もしできることであれば昨年度の57名くらいになれば大変ありがたいとお話でした。

会員数が減少してしまいますと、現在16委員会で構成されている組織構成も統廃合しなくてはならなくなってしまいます。現に我が委員会も会員数の多い時には会員増強とI.D.Mの2委員会で運営されておりました。

大変重い・高い目標ではありますが、林会長のご意向と近い将来の上田クラブの発展の為にも、極力近づけられるように積極的な活動を行なっていきたくと考えておりますので、会員の皆様全員の絶大なるご協力をお願いする次第です。

そこで、本日皆様のお手元にお配りしました「入会候補者一覧」(委員会の立ち上げ時に、前年度柳澤委員長から引き継いだ部分に、新たな候補者をリストアップさせていただき作成いたしました)をご覧いただきまして、紹介者の方以外で、候補者の方をよくご存知な会員様がおられましたら、紹介者の方への強力なバックアップをお願い申し上げます、入会者の確定に繋げていただきたいと思います。

また、この一覧以外にも、ぜひこの方を推薦したいという方がいらっしゃいましたら、積極的に執行部または我が委員会まで情報をいただければ大変ありがたいと思っております。

皆様、どうぞよろしく願い申し上げます。

ここで、話の内容を少し転換させていただき、退会防止についてお話をさせていただきます。

元来の会員増強委員会の枠組みの中には退会防止活動も含まれていると言われております。過日の地区の会員増強セミナーや先日の西入ガバナー補佐の事前訪問時のお話でも、入会3年未満の入会者の退会事例がかなり多くみられるとのことで、新入会員へのケアが重要案件であるという共通の認識が示されました。

新入会員へのケアの一環として、推薦者に依る、例会時等での温かな声掛けや行事への積極的な参加の勧誘等、親近感を持てるような環境作りが必要ではないでしょうか？そして気楽に話し合いをもてるような雰囲気創出を計るようになりたいものです。幸いにして、我がクラブには他クラブには見られないような趣味の会が沢山存在しています。こちらの会もクラブに溶け込んでいく為の大きな役割

を持っていると思いますので、趣味の会関係者の皆様からの積極的な参加を呼び掛けることもどんどん行いたいものと思います。

後でお話をさせていただくI.D.Mの開催についても同様かと考えておりますし、林会長からも有効に活用して、中身のあるI.D.M活動としてほしいとのご指示をいただいております。

尚、当委員会で退会防止の活動も併せて行うという事は、人数的にかなり難しいことだと思っておりますので、ここで私の案としてご提案を申し上げたく存じます。

今年度の当委員会の予算の中には退会防止対策費も含まれているとの理事会の決定事項があります。そうした大義の中で行動を起こしていく為には、何らかの組織作りが必要になるかと思っております。改めて委員会作りとなりますと組織的にも難しいかと思っておりますので、そこでご提案申し上げたいのが“プロジェクトチーム”の創成です。

具体的には、会長をリーダーとして会長直属の退会防止プロジェクトを発足させませんか？

会長・幹事・担当副会長を始めとして、今迄に新会員の推薦を多数行っていたいただいた会員の皆様にご参加をしていただき、新入会員の発掘を始めとして新入会員の拡大にご尽力いただきたいと思います。

そして入会後のケアにつきましても、しっかりとフォローを行っていただき、入会3年未満の退会者が発生しないように、プロジェクトで支えていただければと思います。

できることならばこのプロジェクトは、単年度ではなくある程度の年数は継続させる必要があるのかもしれませんが、尚、このような案件は委員会単位で決定できるものではありませんので、近々の理事会において、しっかりとご討議をいただき、方向付けを進めていただきたいと思いますので、理事・役員の皆様、どうぞよろしく願いを申し上げます。

次に、I.D.Mの開催について、続けてお話をさせていただきます。

林会長の本年度重点施策の1つに、「D・E・I」の理解促進と会員増強」というテーマがあります。このテーマに則り、ダイバーシティ(多様性)とイクイティー(公平性)、インクルージョン(包括性)の中身を十分に理解し、その上で実践に繋げていければと考えております。

基本的な方向として、林会長のご意向では、会員の増強=会員数の拡大 ではないとのことでした。会員数を増やすという事よりも、会員相互の交流を活発化させて、多種・多様な考え方や価値観を受容して、会員がお互いを認め合い、尊重し合うことで会員相互の交流を深めて、所属する会員のすべてをクラブが包み込んで、一体化することができれば、より身近な、楽しみに溢れたクラブ活動を展開し

ていけるようになり、現会員の結びつきも強くなるので、各行事にも積極的に参加できるような雰囲気が醸成され、退会防止にも大きく貢献できるものと考えております。

そうした方向付けへの一つの手段として、会計の横沢さんから増額していただいた予算を有効に活用させていただき、会員相互の交流の機会を増やし、親睦もより深めていく場の一つとして、I.D.Mの開催を考えてまいります。

「I・D・M」の本来の姿ともいえる異業種交流・世代間交流に主眼を置き、少人数での車座集会的な意見交換を活発に行える場として、会員交流密度が深まり、会員全員が楽しいロータリーライフを堪能できるようになれば、クラブ全体が活性化して会員の退会防止にも寄与できるものと思えます。

最後に「I・D・M」の具体的な開催方法について述べさせていただきます。

委員会の予算として55万円を計上していただきましたので、これを有効に活用させていただき、I.D.Mを会からの拠出額を1回10万円以内として、今年度中に5回開催させていただこうと考えております。

- 1)開催日程は9・11・1・3・5月の各中旬頃にて計画を進めてまいります。
- 2)開催場所は固定化して、昨年も利用させていただいた“京や”さんで考えております。
- 3)出席者は入会経過年数を参考にして、ベテラン世代・中堅世代・若手世代の各世代3ブロックに分けさせていただきます。
- 4)各回の出席者は3ブロックから平均4名ずつ+役員・委員会で各15名程度とします。
- 5)各回の出席者は当委員会で割り振りを行い、事前に直接参加依頼をさせていただきます。
- 6)参加負担金は、クラブからの負担金を各回上限10万円程度とし、各参加者からは登録料としてアルコールが必要の方は@3,000円、ノンアルコールの方は@2,000円の負担をお願いする予定です。
- 7)興味をお持ちになられた会員の方は、自由参加枠を設けますので、重複参加されても構いません。その場合、事前に当委員会までお知らせください。

以上、今年度の活動方針を具体的に述べさせていただきました。

会員の皆様どうぞよろしくご理解をいただきまして、ご協力を賜りたいと存じます。どうぞよろしく願い申し上げます。

そして林会長のクラブテーマ「手を取り合って行動し、地域に希望を生み出そう」を実現させましょう。

『ロータリーの友』8月号紹介

雑誌委員会 織 英子 副委員長

R I会長のメッセージ

「メンタルヘルスへのサービスを提唱すること、治療へのアクセスを拡大することは重要な任務であり、大きな課題です。



ロータリーに力を与えてくれるのは地域社会の活動だけではありません。

会員が自分らしさを発揮できるよう安全な空間をつくることで互いに支え合い、力を与えあっているのです。

医師は言います「孤独は公衆衛生上の疾病である」

たばこや肥満、薬物乱用などと同じように社会とのつながりを築くことを優先しなければなりません。

オハイオ州立大学の研究によれば、メンタルヘルスへの3つの介入方法のうち、人に親切な行為をすることで他者とのつながりをより強く感じることができます。親切な行為は人とのつながりを促進する最善の方法なのです。」

8月「会員増強月間」

川越ロータリークラブ会員による生涯の友を持つことの大切さのご紹介

「地球上に80億人の人がいますが、一生のうちで身近に話せる人との出会いは300人に満たず、本当に親しくなるのは3人。そんなわずかな確率のなか、私は川越ロータリークラブで友情を築くという奇跡の体験をしています」

株式会社くつろぎ宿 代表取締役深田社長のスピーチ

「典型的な都会っ子である私は大学院を卒業後、銀行のシンクタンクへ就職したのですが、厚労省の大規模年金保養基地 グリーンピアの売却の案件が舞い込みました。国民の資産であるこれら13の保養所の収益を改善し、少しでも高く売却できるか、取り組むことになったのです。

調査してみると組織も個人も責任、権限、インセンティブもペナルティー何もかもあいまいな一方、決めごとが多すぎました。仕組みそのものが問題の根源で、それを見直さない限り、解決できない。そこで、組織に対して、個人に対してインセンティブやペナルティー両方を導入し直し、改善を図りました。

なぜ、こういう仕組みを導入してこなかったのか？責任を負いたくないからか？既得権が実はあるからか？ひとつひとつ洗い出したのです。

事業を再建するうえで、いつも大切に思っているのは「理念」です。迷いが生じたり立ち止まるとき、職員と真剣勝負するとき、必ず理念に立ち返ります。理念を貫き通すには「志」と「収益」の2つが必要です。志がとて高くて素晴らしいとしても収益的にはどうかとなると残念ながら継続は

怪しいのです。この2つのバランスを図ることが大切です。

昨今、政府の支給する補助金、助成金などを使って会社を立て直したあと、本業で稼ごうという意識が薄れてしまう企業があります。いつまでも支援ありきの会社がうまくいくわけがない。正しく再建していくためには、本業で収益を上げていかななくてはなりません。正しくコスト削減をして次に増収の話を立てるべき。この順番、切羽詰まったときほど、間違っはなりません」

[幹事報告]

飯島幸宏 幹事

1. 米山奨学会
ハイライトよねやま 281号
2. 米山梅吉記念館
秋季例祭の開催のご案内と
賛助会ご入会のお祝い
3. 地区事務所 秋田豪雨災害に対する支援金の件
国際ロータリー第2600地区 ガバナーノミニー
(2025-2026年度ガバナー)決定宣言
4. 小諸RC 創立60周年記念式典ご案内
会報配送中止のおしらせ
5. 小諸浅間RC 会報配送中止のおしらせ
6. 上田市安全会議事務局
上田市安全会議総会資料について(送付)
7. 上田市消防団
上田市消防団音楽隊第18回定期演奏会
～結成50周年記念演奏会～の開催について(ご案内)
8. 豊かな環境づくり上小地域会議
令和5年度豊かな環境づくり地域活動支援事業の実施
について(通知)
9. 「小さな親切」運動本部 小さな親切 夏号
10. 東信ジャーナル 暑中広告
11. 信州民報 暑中広告
12. 会報恵送 上田六文銭RC、松本西南RC、小諸RC
小諸浅間RC



[ニコニコBOX]

滝沢秀一 委員

飯島幸宏さん 石井懋人さん
出田行徳さん 伊藤典夫さん
窪田秀徳さん 桑澤俊恵さん
桑原茂実さん 小山宏幸さん
酒巻弘さん 滋野真さん 島田
甲子雄さん 春原宏紀さん 関啓治さん 関勇治さん 高橋
鼓さん 滝沢秀一さん 田中克明さん 田原謙治さん 林
秀樹さん 増澤延男さん 三井英和さん 柳澤日出男さん
柳澤雄次郎さん



本日喜投額 23名 ￥30,000
累計 ￥303,000

[例会の記録]

司会：南部広樹 会場・出席委員

斉唱：ロータリーソング「それでこそロータリー」

- 会長挨拶 ● 幹事報告
- 会員卓話 伊藤典夫 委員長
- 『ロータリーの友』紹介 織 英子 副委員長

[ラッキー賞]

- 増澤延男さん(窪田秀徳さんより、栗きんとん)
- 高橋 鼓さん(織英子さんより、オレンジケーキ)
- 田中克明さん(織英子さんより、地ビール)
- 小山宏幸さん(滋野真さんより、雪中梅)



[出席報告]

南部広樹 会場・出席委員



	本日	前々回 (7/31)
会 員 数	53	53
出席ベース	50	51
出席者数	42 <small>コロナ欠席2</small>	37
出席免除(b) ()内は出席者数	5(2)	5(3)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ		1(37) <small>コロナ欠席3</small>
出席率	84.00	78.43

[本日のメニュー]

- サーロインステーキ
- 鶏肉の照り焼き
- ゴマ塩ごはん
- 桜漬け
- 味噌汁



[次回例会予定]

9月4日(月) 慶祝

会員卓話(島田太一さん)

(8月28日発行)

【会報担当】 斉藤達也 委員長